

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (11月5日~12月2日分)

日本 TI、デジタル・メディア DSP 『TMS320DM270』を発表

日本テキサス・インスツルメンツ（略称：日本 TI）は、VGA（640×480ピクセル）解像度で毎秒30フレームのMPEG4動画圧縮/伸張をリアルタイムに実行することができるデジタル・メディア DSP『TMS320DM270（DM270）』を発表した。

この製品は、デジタル情報家電向けのトータル・ソリューションを提供する専門組織として日本に設立された DCES（デジタル・コンシューマ・エレクトロニクス・ソリューションズ）カンパニーが開発した初めての DSP ソリューション。

『DM270』は、低消費電力 DSP 『TMS320C54xTM』と『ARM7TDMI』RISC プロセッサ、コプロセッサをワンチップに集積したソリューション。0.13μm プロセスで製造されている。

MPEG4 に加え、画像で H.263、JPEG、Motion JPEG、MPEG1、MPEG4、Nancy、Windows Media Video (WMV)等、オーディオでは AAC、ATRAC3、MP3、Windows Media Audio (WMA)等の規格に対応する。

デジタルカメラを主なターゲットアプリケーションに、携帯電話、DVD、TV ビューワ、デジタル・ビデオ・カメラなどにも組み込み用途に設計されている。

サンプルは、2003 年第 1 四半期に出荷予定。量産開始は 2003 年 7 月予定。10 万個以上発注時の単価は、13 ドル以下。

(12/2)

総務省、10 月末のインターネット 利用者数を発表

総務省は、2002 年 10 月末の時点でのインターネット接続サービスの利用者数速報を発表した。

いわゆるブロードバンドの利用者数としては、CATV インターネットが 185.2 万人、DSL

が 4,639,545 人、FTTH が 138,030 人となっている。

DSL の加入者が前月から 41 万増やし、その勢いをさらに伸ばしている。CATV インターネットは 5.2 万、FTTH は 2.4 万の増加となり ADSL に迫っている。

その他のトピックとしては、前月初めて減少に転じた電話回線等を利用したダイヤルアップ型接続によるインターネット接続サービスの加入者数（発表は指数）が微増し 8 月末の水準に戻っている。

(11/29)

ソニックブルー、Rio ファミリーの 新製品 Rio S10、Rio S50、Rio S35S を発表

ソニックブルーは、デジタル・オーディオ・プレーヤー Rio ファミリーの新製品「Rio（リオ）S10」、「Rio S50」、およびスポーツ・デジタル・オーディオ・プレーヤー「Rio S35S」を発表した。発売は 2002 年 12 月 7 日、価格はオープン。

コーデックは著作権保護済みの WMA（Windows Media Audio）、WMA、MP3 に対応。SD/MMC 対応のカードスロットを搭載し、日本語表示（漢字、カタカナ、ひらがな）もサポートした。

Rio S10 は 64MB フラッシュメモリーを内蔵。単 3 アルカリ乾電池 1 本で最大 35 時間の連続再生が可能。6 種類のプリセットイコライザー、カスタマイコライザー（バス、トレブル）シャッフル再生、リピート再生、ブックマーク、時計/日付表示、ストップウォッチ機能などが搭載されている。

Rio S50 は 128MB フラッシュメモリーを内蔵。単 3 アルカリ乾電池 1 本で最大 35 時間連続再生が可能。ニッケル水素（NiMH）電池の本体充電機能も搭載。6 種類のプリセットイコライザーの他に、カスタマイズ可能な 5 バンドイコライザー機能を搭載。シャッフル再生、リピート再生、ブックマーク、時計/日付表示、ストップウォッチ機能なども搭載している。

Rio S35S は 128MB フラッシュメモリーを

内蔵。単 4 アルカリ乾電池 1 本で最大 15 時間の連続再生が可能。時計/日付表示、ストップウォッチ機能、6 種類のプリセットイコライザー、カスタマイコライザー（バス、トレブル）シャッフル再生、リピート再生、ブックマーク機能などを搭載。また、スポーツ時に便利なアームバンドとベルトクリップ付ホルダー、耳にフィットするスポーツイヤホンを付属する。

(11/28)

OSTA、新仕様「MultiPhoto/Video (MPV) 1.0」をリリース

Optical Storage Technology Association（OSTA）は、PC で作成したディスクに収められたデータを、CD/DVD プレーヤーから利用しやすくすることを目指した新仕様「MultiPhoto/Video（MPV）1.0」をリリースしたと発表した。

この新仕様は、OSTA の MultiPlay 仕様を拡張したもの。MultiPlay は、PC の CD-R ドライブを使って作成したオーディオディスクを CD プレーヤーなどの家電製品で確実に再生できるように、ディスク内容の編成・表示方法の統一仕様をまとめたもの。

MPV 1.0 は、JPEG、MP3、Windows Media Audio、Windows Media Video、MPEG 1/2/4 のほか、AVI、QuickTime MJPEG ビデオをサポート。CD/DVD/メモリーカード/ハードディスク/インターネットとの間で互換性を持つ。

また、CD-R の制作者は XML (Extensible Markup Language) メタデータを使ってマルチメディアデータベースを作成できる。

MPV の作成には Eastman Kodak、Hewlett-Packard、Imation、LSI Logic、Royal Philips Electronics、Roxio、Samsung Electronics などがサポートを表明している。

同仕様はライセンス料なしで提供されるとしている。

(11/25)

NTT 東日本、「フレッツ・ADSL」の料金値下げ

NTT 東日本は、高速インターネット通信料定額サービス「フレッツ・ADSL」について、2002年12月1日から利用料の値下げを実施することとし、総務大臣に料金の届出を行ったと発表した。

料金改定対象となるのは、「フレッツ・ADSL モア」「フレッツ・ADSL 8M タイプ」「フレッツ・ADSL 1.5M タイプ」の、タイプ1（電話重畳型）サービス。

「フレッツ・ADSL モア」が現行の月額3,200円から2,700円に、「フレッツ・ADSL 8M タイプ」が現行の3,100円から2,650円に、「フレッツ・ADSL 1.5M タイプ」が現行の2,900円から2,600円となる。

なお、電話非共用型（ADSL専用型）の月額利用料については変更ない。

(11/22)

松下、SDメモリーカード用USBリーダーライターを発表

松下電器産業、松下電池工業は、SDメモリーカードに対応した、PC接続用のアダプタ「USBリーダーライター（BN-SDCEP3）」を2002年11月26日より発売すると発表した。

旧モデル（BN-SDCAP3B）と比べてデータ転送速度が約2倍に改善、読み出し最大900kB/sec、書き込み最大800kB/secを実現している。

SDメモリーカードの著作権保護機能に対応し、SD-Jukeboxと組み合わせて使用すれば、デスクトップパソコンやノートパソコンを介して、SDメモリーカードへの専用音楽ファイルの作成や、インターネット音楽配信からの音楽ファイルの取り込みが可能となる。

また、トヨタ自動車の新型車WILL CYPHAに搭載された「G-BOOK」車載端末で使用できる専用地図のダウンロードサービスにも対応する。

価格はオープン。

(11/22)

理経、公衆無線 LAN サービス「BizPortal」開始

理経は、公衆無線 LAN サービス事業に参入し、2002年11月26日よりBizPortal(ビズポータル)サービスを開始すると発表した。

理経の BizPortal サービスは、BizPortal サービスエリア内で最大11Mbpsの高速大容量データ通信を無線 LAN 技術で提供するインターネット接続サービス。

利用ターゲットをビジネスマンに絞り、新宿西口地区のホテル、オフィスビル等のパブリックスペースの限られたエリアで展開する。

利用については事前登録不要とし、BizPortal ワンタイムカードを購入し、そこに記載されているID・パスワードを入力すると、有効利用時間内で利用できる。

料金は1日券が500円、7日券が1000円。

また、米国 Electronics For Imaging (日本法人 イー・エフ・アイ)のPrintMeネットワークを利用したプリントアウトサービスも提供する。

(11/22)

日立、世界最小のメモリーカード「RS-MMC」を発表

日立製作所 半導体グループは、次世代携帯電話や PDA 等の小型モバイル機器、デジタルカメラ等の携帯画像機器のデータ記録用に、マルチメディアカード (MultiMediaCard) と同機能ながら約半分のサイズを実現したりデューストサイズマルチメディアカード (Reduced size MultiMediaCard、RS-MMC) を製品化したと発表した。

カードは、マルチメディアカードの標準化団体である MMCA (MultiMediaCard Association) で規格化し、2002年11月11日に発表された新タイプ・マルチメディアカ

ードの初めての製品。

フラッシュカードとしては世界最小の18mm×24mm、薄さ1.4mmを実現している。

機能、ピン数、薄さは標準サイズのマルチメディアカードと同じで、マルチメディアカードとの互換性を維持している。このため、別にサードパーティから用意されるアダプタを使用することにより、マルチメディアカード対応機器での使用が可能となっている。

書き込み速度は1.0Mバイト/秒。読み出し時電流28mA(typ.)、書き込み時電流33mA(typ.)の低消費電力を実現している。

第一弾として16Mバイト品「HB28H016RM2」、32Mバイト品「HB28D032RM2」、64Mバイト品「HB28B064RM2」を2002年11月25日よりサンプル出荷する。引き続き128Mバイト、256Mバイト品を2003年後半に製品化する予定としている。

(11/21)

UMG、43,000曲の音楽配信を開始

Vivendi Universal 傘下の世界最大の音楽会社、Universal Music Group (UMG) は、43,000曲以上の楽曲を、主要な小売業者のサイトと音楽サイトを通じての音楽配信サービスを開始したと発表した。

配信にはLiquidAudioの技術を利用しており、コーデックはLiquidAudio形式もしくはWindows Media形式。ユーザーは購入した曲のCDへのコピー、セキュアなポータブルデバイスへの転送が可能となっている。

料金は1曲につき99セント、アルバム1枚当たり9ドル99セント。

(11/21)

ソニーミュージックグループ、著作権保護付音楽CDを発売

ソニー・ミュージックエンタテインメント (SMEJ) は、SMEJを本社とするソニーミ

ミュージックグループのレーベルカンパニーから音楽の著作権保護機能を付加した"レーベルゲート CD"を発売すると発表した。

1枚の"レーベルゲート CD"は2つのセッションから構成される。

1st セッションでは、従来の CD と同様の民生用オーディオ機器向け音源を収録し、パソコンでの再生を不可とするコピーコントロールを施している。

2nd セッションではパソコン機器向けに音楽配信と同等の音質の暗号化された圧縮音源が入っており、インターネットでの個別認証手続き完了後、ハードディスクへ複製された音楽データを音楽再生ソフトウェア"MAGIQLIP"にて再生できる。

さらに、ハードディスクに複製された音楽データは Net MD 等の OpenMG に対応した機器等へ指定された回数で"チェックイン・チェックアウト"が可能となっている。なお、ハードディスクへの複製については、個別認証手続きにて複製回数をカウントすることにより、パッケージ毎に定められた課金が発生する。ただし、1回目の複製は当面の間は0円課金となる。

SMEJ では、CD の音質をマスターテープに限りなく近づけるための改善を継続して行っており、今回「カッティング工程のための PDLs」の開発に成功し、更なる音質改善を実現。この技術はレーベルゲート CD にも使用されているとしている。

2003年1月22日以降、ソニーミュージックグループのレーベルカンパニーから発売される邦楽 CD12cm シングルの全タイトルを"レーベルゲート CD"として発売する予定としている。

(11/20)

@nifty、無線 LAN 接続サービス「@nifty ホットスポット」を開始

ニフティは、同社の運営するインターネットサービス"@nifty (アット・ニフティ)"にて、無線 LAN による接続サービス「@nifty ホットスポット(アット・ニフティ ホットスポット)」を、2002年12月3日から開始すると発表した。

このサービスは、アット・ニフティ会員および@niftyID 登録ユーザーを対象に、NTT コミュニケーションズの提供する無線 LAN サービス「ホットスポット」のサービスエリアでのインターネット接続環境を提供するもの。

料金は月額1,400円。また、国内で提供される無線 LAN 接続サービスとしては初めて、手軽な日額利用(350円/日)も用意された。

なお、2002年12月末までは、お試し期間として無料でサービスを利用できる。さらに、2003年1月1日から2003年2月28日までの利用については、キャンペーン価格(250円/日、1,000円/月)で提供される。

(11/19)

au、CD 音源を着信音として配信する「着うた」開始

KDDI、沖縄セルラーは、レーベルモバイルと共同で、CD 音源そのものをダウンロードでき、着信音などにも設定できる業界初のサービス「着うた」を2002年12月上旬より提供すると発表した。

「着うた」は、最新のヒット曲(15秒~30秒程度)を au の携帯電話インターネット接続サービス「EZweb」上の対応サイトからダウンロードし、着信音・アラーム音として利用したり、そのまま再生して楽しんだりすることができるサービス。

情報料はコンテンツにより84円/曲または105円/曲(税込み)。

対応する携帯電話は2002年12月上旬発売予定の、「ムービーメール」対応のカメラ付き「ムービーケータイ」A5302CA(製造:カシオ計算機株式会社)A5303H(製造:株式会社日立製作所)の2機種。

楽曲はサービス開始時に約300曲の配信を予定。レーベルモバイルでは、CD 発売日と同日または発売直後に新曲の更新を随時行い、今後、順次提供楽曲を増やしていくとしている。

(11/18)

MusicNet、サービス内容を拡張し5大レーベルの楽曲を提供へ

米 MusicNet と Warner Music Group は、提供している MusicNet の音楽配信サブスクリプションサービスの内容を拡張することに合意したと発表した。

この合意により、MusicNet の会員は4万曲の WMG の楽曲を PC にダウンロードできるほか、セキュアな携帯プレーヤーに転送でき、CD-R に焼き込むことも可能になる。

サービスの拡張に合わせて、Universal Music Group (UMG)、Sony Music Entertainment (SME) と楽曲配信のライセンス契約を締結し、EMI Recorded Music、BMG とはこれまでのライセンス契約を拡張したことを発表している。

(11/16)

pressplay に WMG の楽曲も追加

米 pressplay は、5社目のメジャーレーベルとして Warner Music Group (WMG) との間で楽曲提供に関する非独占契約を締結したと発表した。

この契約により、数週間以内に pressplay の提供楽曲に、Atlantic、Elektra、Warner Bros.、Lava など世界的に有名な WMG のレーベルの10万曲を超える楽曲が加わることになる。

pressplay は Sony Music Entertainment と Universal Music Group の合弁事業。2社に加えて、BMG、EMI Recorded Music、Madacy、Matador、Navarre、OWIE、Razor & Tie、Roadrunner、Rounder、Sanctuary といったレーベルが楽曲を提供している。

実際のサービスは提携パートナーである MP3.com、MSN、Roxio、Yahoo を介して提供されている。

有料会員制サービスの最新バージョン「pressplay version 2.0」では、ストリーミング、ダウンロード共に楽曲を無制限に利用可能にしたほか、ダウンロードした楽曲を携帯型プレーヤーに転送できるサービスや CD-R に焼き込みができるサービス、インタ

ーネットラジオ局を視聴できるサービスを追加している。

また、Windows Media Player 9 series では、Service タブにより pressplay のサービスにアクセスできるようになっている。
(11/15)

ソニーと Philips、InterTrust を買収

米 InterTrust Technologies は、ソニーの米国法人とオランダの Royal Philips Electronics の子会社 Fidelio Acquisition Company との合併に同意したと発表した。

合併協定に基づき、Fidelio Acquisition Company は InterTrust Technologies のすべての株式を一株 4.25 米ドルで買収する。買収総額は 4 億 53 百万米ドル。

InterTrust 取締役会はこの買収を承認済みとしている。
(11/14)

米 Liquid Audio と米 Alliance Entertainment、合併を断念

米 Liquid Audio と米 Alliance Entertainment は、両者間で進めてきた合併計画が白紙撤回となったと発表した。

両社は Alliance Entertainment 社のパッケージディストリビューションと Liquid Audio の音楽配信システムとを併せて、リアルとバーチャル双方でのホームエンタテインメントコンテンツの流通網を提供するとして合併を進めていた。

ところが、Liquid Audio 社側で合併に賛同しない株主が著しく多かったために、合併を断念することになったとしている。
(11/12)

10 月末の DSL 加入者数は 460 万

総務省から 2002 年 10 月末時点の DSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 4,639,545 で、これは前月末の 9.9%

増。増加率は前月から 2.0% のプラス。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入者が 1,841,019、他事業者経由の DSL 加入者が残りの 2,798,526 で、NTT 東西のフレッツ ADSL のシェアは 39.7% と前月から 1.2% のマイナス。
(11/11)

松下、SD Audio プレーヤーの新モデルを発表

松下電器産業は、携帯音楽プレーヤー「SD オーディオプレーヤー SV-SD50」を 12 月 10 日に発売すると発表した。

圧縮方式は AAC と WMA、MP3 に対応。単 4 形アルカリ乾電池 × 1 本で約 31 時間の長時間再生が可能となっている。

サイズは 47.2 (幅) × 68.5 (高さ) × 22.1 (奥行き) ミリ、重さ 41.4 グラム (電池を含む場合は約 52.8 グラム)、ステレオインサイドホン、インサイドホン延長コード、ネックストラップが付属する。

音楽ファイルを SD カードに転送するには、別売りの SD オーディオ PC レコーディングキット「SH-SSK10」(12 月発売予定) に含まれる USB リーダ/ライターとソフト「SD-Jukebox Ver.3.0」を使って行う。

価格はオープン。
(11/11)

有線ブロード、10 月末時点で FTTH2 万回線を突破

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業 (FTTH ブロードバンドインターネットサービス) について、2002 年 10 月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、Web でサービスの申込みを行なった登録数が 97,631 件、工事日が確定している契約者数が 39,376 件、回線が開通している取り付け数が 22,318 件となり、取り付け数が初めて 2 万を越えた。

そのほかの数字を 9 月末時点のものとは比べ

ると、登録数で約 3,600 件、契約者数で約 5,000 件の増加となっており、いずれも増加している。また、展開エリア数は 90 から 91 となっている。
(11/8)

「NeoMobile」と「無線による、駅でのインターネット接続実験」のエリアローミング実験を実施

エヌ・ティ・ティ エムイー (NTT-ME) は、無線 LAN インターネットアクセス「NeoMobile」において、駅における公衆無線 LAN インターネットアクセスのトライアル「無線による、駅でのインターネット接続実験」を実施している東日本旅客鉄道 (JR 東日本) および日本テレコムとともに公衆無線 LAN インターネットアクセスのエリアローミングの検討を開始すると発表した。

まず、「無線による、駅でのインターネット接続実験」と「NeoMobile」のエリアローミング実験を、2002 年 11 月 11 日 (月) より期間限定で行い、エリアローミングに関する技術、サービスの両側面より検証を行う。

対象は「NeoMobile」のモニターをしており、「無線による、駅でのインターネット接続実験」モニターにも登録できるユーザー。

NTT-ME では、認証実験により得られた成果 (内容)などを元に JR 東日本・日本テレコムとエリアローミングのあり方について検討をしていく予定。
(11/8)

「Yahoo! BB」会員、10 月末現在で 120 万人突破

ソフトバンクは、全額出資子会社ビー・ピー・テクノロジーがヤフーと共同で提供しているブロードバンド総合サービス「Yahoo! BB」の進捗状況を発表した。

それによると、Yahoo! BB 会員は 120 万 8000 人、前月比で 19 万 7000 人の増加。また、Yahoo! BB と同時に提供される IP 電話「BB フォン」の利用登録者数は 77 万 3000 人。

なお、10月からはADSL・IP電話・無線LAN一体型の「Yahoo! BB トリオモデム12M」を用いた試験サービス「Yahoo! BB 12M+無線LANパック」の提供も開始されている。

(11/8)

Macrovision、Midbarを買収

米Macrovisionは、同社と同じくコピー防止技術を手がけるイスラエルのMidbar Techを買収すると発表した。

Macrovisionはまた、TTR Technologiesからコピー防止技術と著作権管理(DRM)技術の資産を買い取ることに双方合意したことも明らかにした。

双方の開発陣は、今後数ヶ月をかけて「SafeAudio」「SafeAuthenticate」と「CDS100」「CDS200」の統合を図っていくとしている。

その成果の一つとして、コピーコントロールCDをCD-Rに焼き込む技術と、家電製品に著作権管理された音楽ファイルを転送する技術の開発が期待されている。

(11/5)

EMD Magazine 第27号

発行 2002年12月14日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース